

公開ディスカッション検討チーム報告

平成 26 年 10 月 10 日
公開ディスカッション検討チーム

1. 公開ディスカッション検討チーム会合の実施

公開ディスカッション検討チームは、第 2 期における公開ディスカッションの実績を踏まえ、9 月 26 日と 10 月 6 日の 2 回、活発な意見交換を行った。

長谷川委員（座長）、大田議長代理、大崎委員、佐久間委員、林委員、森下委員が参加した。

2. 検討結果

会合においては、①開催趣旨、②意見交換の方式、③取り上げるべきテーマ等について、検討を行った。

(1) 開催趣旨

- 開催趣旨については、これまでと同じでよい。

（これまでの開催趣旨）

国民にとって関心が高いと思われる分野における規制改革の検討課題について、公開の場において議論を行い、規制の多くが内包しているトレードオフの構造を明確にして論点を整理し提示することにより、規制改革の推進のための世論を喚起することを目指す。

(2) 意見交換の方式

- 取り上げるテーマについて、分かりやすい形で問題設定を行い、事前にインターネットで賛否を問い、当日の議論に活用することを検討すべきである。
- パネルディスカッション形式で開催することとし、規制改革会議委員を含む規制改革要望者側と当該要望に対し反対する者（例：所管省庁、業界団体等）とで議論し、フロア側（登壇していない委員や一般傍聴者）からの意見も受け付ける形で議論を進めることを検討すべきである。
- 当日の一般参加者を増やすことを目的とする必要はない。それよりも、世間の関心を惹くテーマと運営の仕方を工夫すべきである。
- 会場は、中央合同庁舎第 8 号館 1 階講堂でよい。

(3) 取り上げるべきテーマ

- 論点が明確になっているフォローアップ案件が望ましいと考えられる。
- 二者択一に落とし込める、わかりやすいテーマが望ましい。

(4) 開催時期・曜日・時間帯

- 2 回開催するとすれば、1 月と 3 月開催を目指すことが適当と考えられる。

以上